

# プラスチック使用製品産業廃棄物等の 排出の抑制・再資源化等の取り組み

---

# 廃プラスチック等に関する取り組み

## ■ Hondaの廃棄物等の取り組み

Hondaは、資源枯渇や環境汚染につながるリスクを視野に入れ、企業活動における廃棄物の削減に取り組んでいます。生産工程における端材の削減など、資源リデュースを含めた3Rに取り組んでおり、Hondaのすべての企業活動における2030年度廃棄物総発生量をBAUに対し、14.5%削減する目標の達成を目指しています。（統合報告書「Honda Report 2023」より）

## ■ 国内におけるプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制・再資源化等の取り組み

廃プラスチック等の排出の抑制・再資源化に向けて、製品の設計や生産段階でのプラスチックの使用量削減に取り組むと共に、各事業所においてプラスチック廃棄物の削減や資源の有効活用につながる分別の徹底などに取り組んでいます。

取り組みの一例として、工場で発生する試作バンパーや、販売店で修理・交換などにより発生する使用済みバンパーの自主回収を強化し、積極的に再資源化に取り組むことで資源循環の最大化を目指します。（次頁参照：バンパーリサイクルの取り組み）

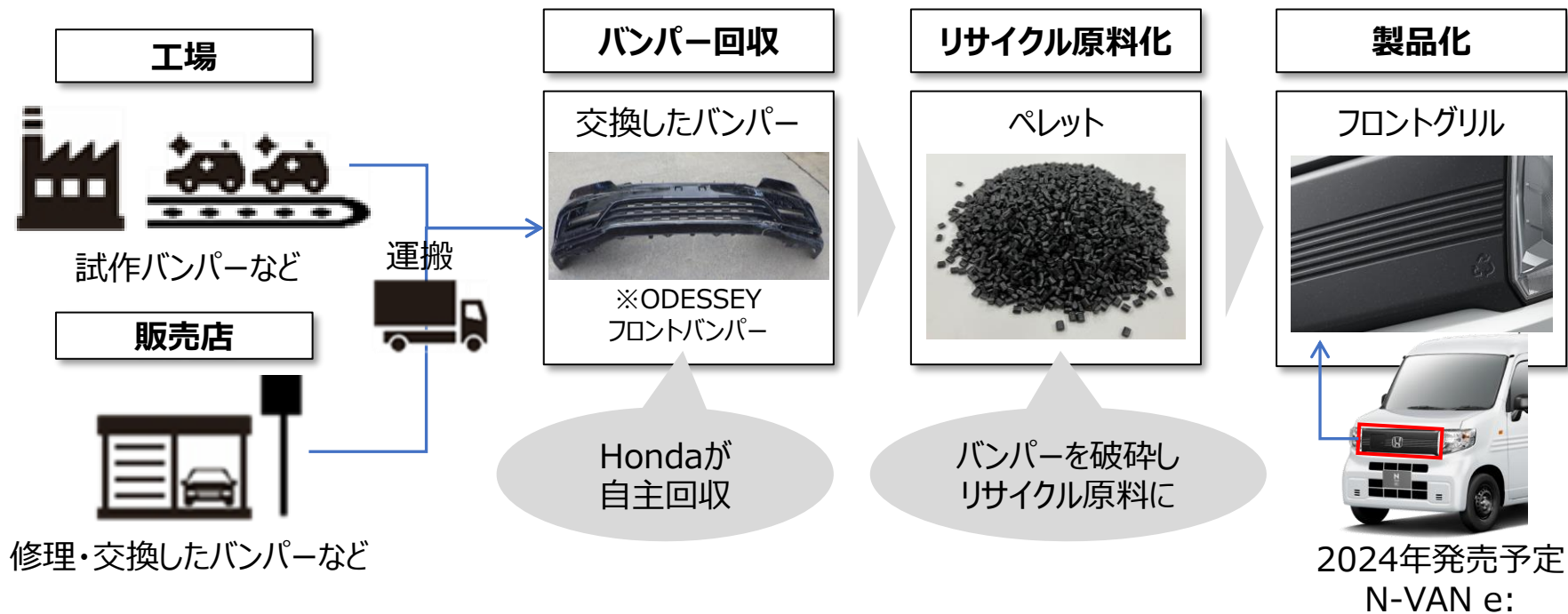
今後は、上記のような取り組みをHondaのバリューチェーン全体に広げ、更なる廃プラスチック等の排出の抑制・再資源化に取り組んでいきます。

廃プラスチック等の排出量  
(日本国内の生産工場)

年度	廃プラスチック等 排出量 (t)
2021	2,617
2022	3,409

# バンパーリサイクルの取り組み

## ■ バンパーリサイクルの流れ



試作バンパーなどの排出量（四輪完成車工場）

年度	試作バンパーなど（t）		
		うちリサイクル	
		有価売却量	自主回収量
2021	372	372	※1
2022	531	531	※1

修理・交換したバンパーなどの排出量（販売店など）

年度	修理・交換したバンパーなど（万本）		
		うち自主回収	
		本数（万本）	重量（t相当）
2021	30.1	13.8	369
2022	30.1	13.4	355

※1.2023年度より自主回収開始